

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	壮志会
事 業 名	先進地視察 福島県 二本松市 ・「二本松市過疎地域持続的発展計画の取り組みについて」
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市においては武石地域が一部過疎地域に指定され事業が進んでいる。二本松市は、令和3年4月に制定された、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」を受けて過疎地域への「移住者の増加」、「革新的な技術の創出」、「情報通信技術を利用した働き方への取り組み」といった一部過疎地域の課題解決を加速させ、地域の自立に向けて、過疎地域における持続可能な地域社会の形成や地域資源などを活用した地域活力の更なる向上を目指している。二本松市では、市の持続的発展に資する総合的かつ計画的に推進することを目的として「二本松市過疎地域持続的発展計画」を策定した。こうしたことを踏まえ先進地である二本松市の取り組みを参考にするため視察を行う。

2 実施概要

実施日時	視察先	福島県	二本松市
令和5年7月4日(火) 13:30 ~ 15:00	担当部局	総務部秘書政策課	本田係長、熊谷主査 議会事務局 塩田事務局長、遊佐係長、安田主査
<p>1 市の概要</p> <p>二本松市は福島県福島市と郡山市の中間に位置し、市の西方には二本松市のシンボルでもある安達太良山があり、その西部は安達太良山のすそ野が広がり標高が高く岳温泉や塩沢温泉などが点在する。当市は、福島県を代表する城下町の一つとして数えられ、多くの観光資源を有する。二本松城は、福島県内の若松城（会津若松）、白河小峰城（白河）とともに、日本100名城にも選定されている。その城下で執り行われる「二本松提灯祭」は、福島県内で行われる神社例大祭の中でも、群を抜く規模と威厳を肌で感じられる祭りである。</p> <p>平成17年12月1日に旧二本松市、旧安達町、旧岩代町および旧東和町の1市3町が合併し新「二本松市」として誕生した。</p>			

2 市の特徴

二本松市は、人口約5万人を有し、世帯数は2万世帯、面積は約34万 km^2 メートルであり、人口密度は、150人/ km^2 である。二本松市は、「菊の城下町」と称され、日本最大級の菊人形展「二本松の菊人形」が行われている。福島県内で会津と並ぶ古くからの日本酒造り酒屋を多く抱えている地域でもあり、地場産業の一つともなっている。

東京都心からは、250km。県庁所在地の福島市から二本松市は、およそ20km圏内に位置し、地名の由来は、旅人の目印となった二本松があったとされる。古城・四本松城から二本の松を移植したことからとする説もある。

歴史と自然あふれる都市である二本松市は、「二本松地域」「安達地域」「東和地域」「岩代地域」と4つの地域に分かれていて、その内「東和地域」と「岩代地域」が過疎地域に指定されている。

地域の交通手段として、岩代地域では路線バスが3路線、東和地域では1路線あり、コミュニティバス及びデマンド型乗り合いタクシーを運行している。東部の山間部は、人口の減少やマイカー等の普及により利用者が減少し路線の維持が危ぶまれている現状である。

3 視察事項について

・過疎地域持続的発展計画の取り組みについて

(1) 経過

二本松市における過疎の状況については、昭和46年、旧岩代町及び旧東和町が過疎地域対策緊急措置法による地域指定を受けて以来、過疎地域振興特別措置法、過疎地域活性化特別措置法及び過疎地域自立促進特別措置法に基づき、30年以上にわたり過疎対策に取り組んできた。平成17年12月1日に合併により新「二本松市」となったが、過疎地域自立促進特別措置法第33条第2項の規定により、旧岩代町及び旧東和町の地域においては引き続き過疎地域とみなされることとなった。

市全体の人口は、昭和35年には、75,634人だったが、年々減少傾向にあり、平成27年には58,162人と17,472人(23.1%)もの人口が減少した。特に旧岩代町及び旧東和町の地域においては、昭和35年の人口が28,912人に対し、平成27年では、13,868人と15,044人(52.0%)もの人口が減少し、高齢化率も35.0%と過疎地域特有の人口構成となっている。

(2) 具体的な取り組み

過疎地域となる旧岩代町及び旧東和町の地域においては、過疎地域の指定を受けて以来、地域の特色を生かしながら、各種過疎地域特別措置法に基づく計画により、生活環境の整備、公共施設の整備、産業の振興と地域の自立に向けて鋭意努力してきた。

しかしながら、当該地域の農業後継者不足や新規学卒者の地域外就労に加え、生産年齢人口の減少が続く、都市部への流出傾向に歯止めがかからない状況となっていることから、人と地域のつながりを主眼とした過疎振興施策を進め、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の更なる向上が出来るよう、今後とも過疎地域脱却に向けた各種施策を積極的に推進する考えである。

二本松市においては、「都市部への人口流出を防止する」施策として

- ①幹線道路をはじめとした道路網整備によるアクセスの向上
- ②公共交通ネットワークの整備による移動手段の確保
- ③診療所等運営による地域医療の確保
- ④「集落支援員」や「地域おこし協力隊」による地域づくり・地域人材の育成
- ⑤「定住支援員」や「移住支援アンバサダー」による移住者の受け入れ態勢の充実
- ⑥道の駅や、宿泊施設、祭り等観光資源を活用しての交流人口増加による地域の活性化等を行っている。

また、「地域資源を生かす支援策」については

- ①地域の基幹産業である農業支援
- ②宿泊・観光施設（農家民泊）等の支援
- ③地域の祭りや各種イベントの支援等を行っている。

4. まとめ

我が国の過疎地域の人口は8.2%を占めるにすぎないが、市町村数では、885市町村で全体の半数を超え、面積では約6割を占めている。今後急激に人口減少が続く中で、上田市においても、人口流出を防止するための施策や、地域資源の関連付けを行い、また、活用しながら地域内外の交流人口等の増加を図り、地域の活性化の支援を行うよう提案をしていきたいと考える。

